

第6章 財政収支の見通しと年次計画

1. 財政収支の見通し

(1) 収支計画

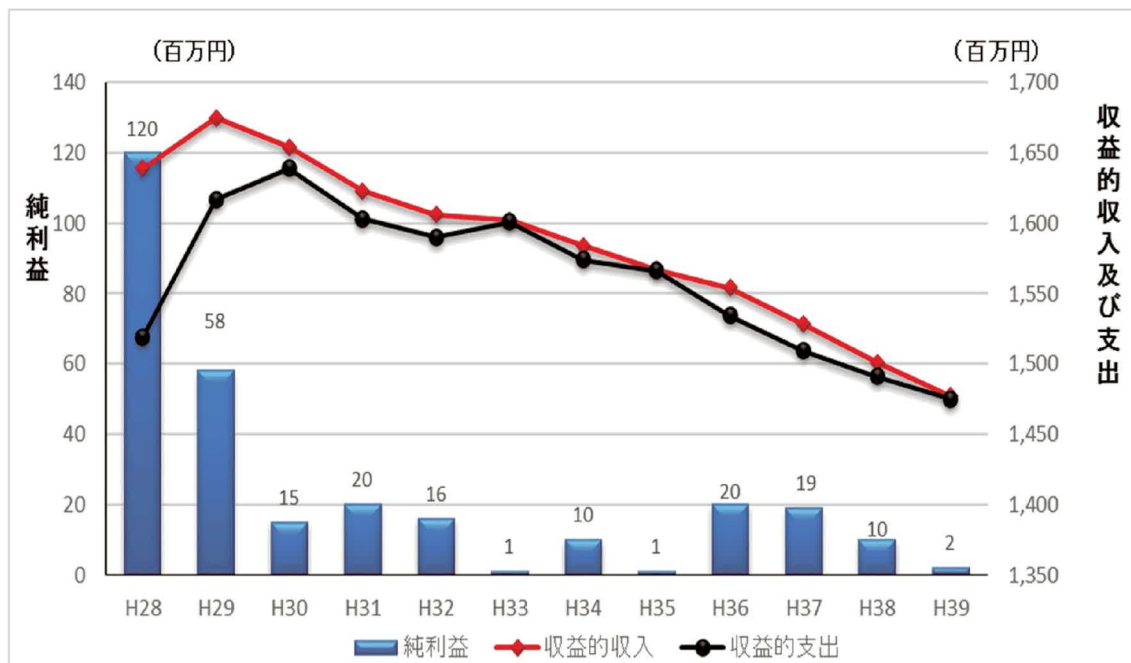
水道料金収入は、平成22年度に水道料金を統一したことにより収益の改善が図られたものの、給水人口の減少に伴い減少していくものと想定しています。

費用では、大規模な建設改良事業を実施していることから、減価償却費及び支払利息（企業債利息）は増加していくと見込まれますが、動力費や修繕費など経常に要する費用では、ほぼ横ばいであることから、その他の経費等の削減に努めます。

その結果、計画期間中期では、健全な事業運営に必要な財源確保が厳しい状況が試算されています。

しかし、安定経営の持続を図るためには、適正な利益を確保していかなければならないことから、中・長期的な視点に立ち、徹底した経費削減を行うなど事業運営の効率化を図りつつ、お客さまの理解を得ながら適正な料金体系の構築に取り組んでいきます。

【純利益、収益的収入及び支出の見込み】



※平成29年度は決算見込みの数値である。

【収益的収支の見込み】

(百万円)

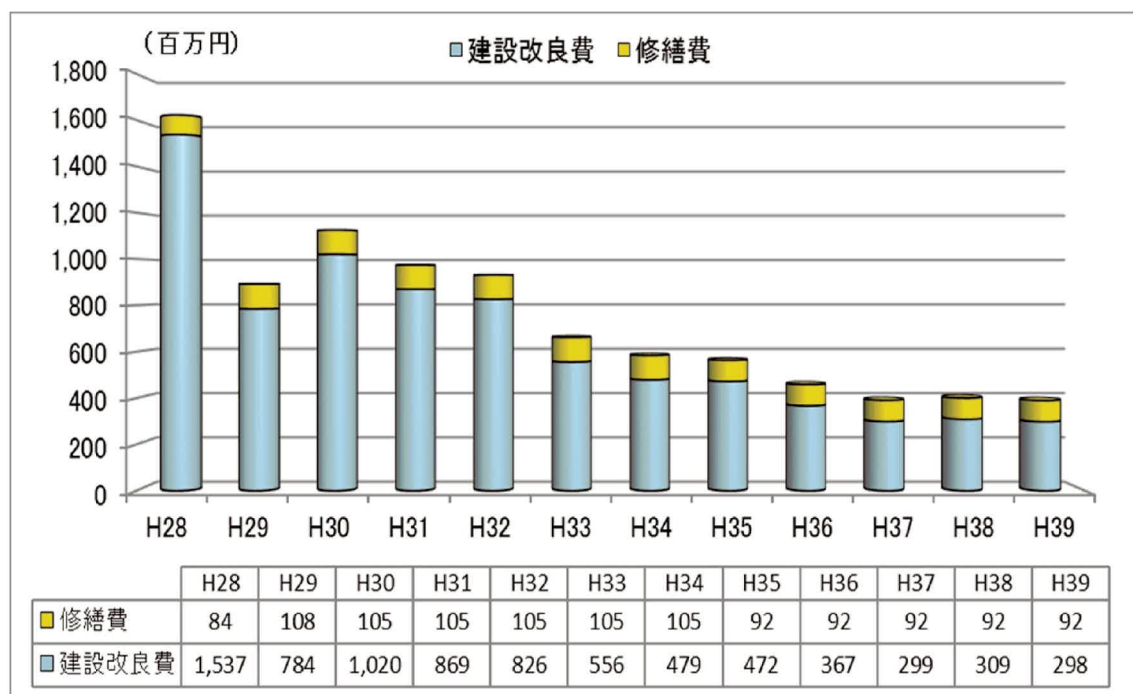
区分	年度	28 決算	29 見込	水道ビジョン計画期間									
				30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
給水収益		1,360	1,336	1,331	1,300	1,286	1,270	1,255	1,240	1,225	1,210	1,193	1,177
その他の収入		279	339	323	323	320	332	329	327	329	318	308	300
収益的収入		1,639	1,675	1,654	1,623	1,606	1,602	1,584	1,567	1,554	1,528	1,501	1,477
営業費用		648	674	687	653	620	620	608	609	594	594	594	595
減価償却費		629	707	725	732	761	782	780	787	784	773	767	760
支払利息		235	229	219	210	201	191	178	162	148	134	122	112
その他の支出		8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
収益的支出		1,519	1,617	1,639	1,603	1,590	1,601	1,574	1,566	1,534	1,509	1,491	1,475
当年度純損益		120	58	15	20	16	1	10	1	20	19	10	2

(2) 投資計画

西通地区の水道施設統合など、計画期間中期まで大規模な事業投資が継続することから、引き続き多額の投資的支出が必要となる見込みです。

一方で、財源としては国庫補助金等の収入は限定的であることから、今後とも企業債に頼らざるを得ません。継続事業終了後も老朽施設の更新や耐震化などが見込まれますが、財政状況を勘案しながら、適切な投資計画を策定していく必要があります。

【投資額（税込）の見込み】



【資本的収支の見込み】

(百万円)

区分	年度	28 決算	29 見込	水道ビジョン計画期間									
				30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
企業債		1,245	562	903	735	750	474	278	324	244	252	256	251
補助金その他		325	199	216	159	168	207	247	260	160	152	160	173
資本的収入		1,570	761	1,119	894	918	681	525	584	404	404	416	424
建設改良費		1,537	789	1,020	869	826	556	479	472	367	299	309	298
企業債償還金		618	645	696	707	747	796	841	857	878	848	803	742
資本的支出		2,155	1,434	1,716	1,576	1,573	1,352	1,320	1,329	1,245	1,147	1,112	1,040
収支差引		△585	△673	△597	△682	△655	△671	△795	△745	△841	△743	△696	△616
補てん財源 ²⁷		585	673	597	682	655	671	795	745	841	743	696	616

27 補てん財源

「資本的収入額が資本的支出額に不足する額」を補てんするために用いられる財源のことで、過年度及び当年度損益勘定留保資金、積立金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、利益剰余金処分額などを合計した額となっている。

2. 年次計画（主な事業スケジュール）

基本目標	主要施策	主要事業	前 期		
			30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)
【基本目標1】 安全で安心な水道 <安全>	(1)水質管理体制の強化	①水質監視・保安体制の強化	水質監視体制の充実		
		②赤水防止対策の強化	計画的な洗管工事の実施		
		③水安全計画の策定	計画 策定	実施・随時改訂	
	(2)安全な水道水の普及促進	①貯水槽水道等への広報・指導	広報・指導		
【基本目標2】 安定供給できる強 靱な水道 <強靱>	(3)水道施設の維持・更新	①浄水場の集約化	西通地区浄水場の統合・ダウンサイズ		
		②水道施設の整備・更新	電気・機械設備の計画的更新		
		③老朽管路の更新	老朽管路・水管橋の計画的更新		
	(4)強靱な水道施設の構築	①施設の耐震化	浄水場・配水池の耐震化		
		②非常用設備の整備	非常用発電機設備の設置及び計画的		
		③管路の耐震化	基幹管路の耐震化		
	(5)危機管理体制の充実	①危機管理対応の充実	危機管理マ ニュアル改訂	事業継続 計画策定	
		②災害応急体制の充実	応急復旧資機材の確保、応急給水		
	【基本目標3】 未来につなげる水道 <持続>	(6)経営の効率化	①組織の合理化と適正配置	包括的業 務委託	
②人材の育成と技術の継承			職員研修の充実		
③官民連携と広域連携の推進			官民連携と	広域連携 の検討	広域連携の
(7)財政の健全化		①適正な料金体系等の構築	料金体系・ 水準の検討		
		②アセットマネジメンの実践	水道管路管理システムによる老朽度		
		③財政基盤の確立	企業借入残高の縮減		
(8)水の有効利用		①漏水対策の推進	有収率の向上		
【基本目標4】 お客さまと向きあ う水道 <持続>		(9)お客さまサービスの向上	①お客さまサービスの向上	お客さまサービスの随時見直し	
	(10)広報広聴体制の充実	①積極的な情報提供	各種情報の積極的な提供と多様化		
		②お客さまニーズの把握			

